

特別展

国立民族学博物館創設40周年記念
日本文化人類学会50周年記念

「イメージの力」

国立民族学博物館「コレクションにさぐる」

人間の作り出したイメージのはたらきや受けとめられ方に、人類共通の普遍性はあるのでしょうか。観覧者とともにさぐります。

会期 12月9日(火)まで
会場 特別展示館

■関連イベント

トークイベント

会場となる「イメージの力」展の空気を取り込んで、即興で小説を生み出します。

日時 11月29日(土)13時30分～15時
ゲスト いししいしんじ(小説家)
聞き手 山中由里子(本館准教授)

会場 特別展示館
※申込不要、先着順、要特別展示観覧券

ワークショップ

「体感!イメージの力」

本展をつくりだした研究者とチームを組み、展示資料を活用しながら感じたことを語り合います。

日程 11月22日(土)、23日(日)・祝
時間 13時～16時30分(12時30分受付開始)
会場 特別展示館(定員各回16名)

講師 長屋光枝(国立新美術館 主任研究員)
吉田憲司(本館 教授)

対象 本展実行委員ほか3名
22日(土)一般(中学生以上)、
23日(日)・祝)小学4年生～6年生

※要事前申込、先着順、
参加費500円(別途要特別展示観覧券)

ギャラリートーク
日程 11月6日(木)、10日(月)、13日(木)、
17日(月)、20日(木)

時間 17時～11時30分
※申込不要、参加無料(要特別展示観覧券)

みんなくナレッジキャピタル
「イメージの力」をさぐる

大阪・梅田のナレッジキャピタルで特別展と連動した連続講座を開催します。(全6回)

時間 19時～20時30分
会場 グランフロント大阪北館1F

ナレッジキャピタル The Lab Cafe Lab
※要事前申込 参加費500円(ドリンク代)、定員各回50名

主催 一般社団法人ナレッジキャピタル
国立民族学博物館

11月12日(水)
講師 齋藤玲子(本館 助教)

話題 イメージと商品化
お申込み・お問い合わせ
一般財団法人ナレッジキャピタル
06・63372・6530

企画展
「未知なる大地」

グリーンランドの自然と文化」
グリーンランドの自然、そこに住むイヌイットの人びとの歴史と文化を紹介します。

会期 11月18日(火)まで
会場 本館企画展示場

■関連イベント
ギャラリートーク

日程 11月6日(木)、10日(月)、18日(火)
時間 14時～14時30分

講師 岸上伸啓(本館 教授)

※11月6日(木)は13時～13時30分
申込不要、参加無料(要展示観覧券)

公開フォーラム
「文化遺産の人類学」

文化遺産を支えるさまざまな動きを見つめてきた文化人類学者が、文化遺産の知られざる一面を報告します。

日時 11月8日(土)10時15分～16時50分
(開場10時)

会場 本館第5セミナー室(定員75名)
※参加無料、要事前申込

お問い合わせ・お申し込み
heritage@dc.minpaku.ac.jp

みんなくワールドシネマ
「海と大陸」

アフリカの不法移民をかくまうイタリアの島の一家の苦闘を通して、移民問題を考えます。

日時 11月9日(日)13時30分～16時
(開場13時)

会場 本館講堂(定員450名)
※申込不要、先着順、参加無料(要展示観覧券)

※当日11時30分から展示場ミレクチャーあり。
北大阪ミュージアムメッセ

北大阪7市3町の美術館、博物館が2日間みんなくに大集結し、楽器演奏によるコンサート、地域の民俗芸能上演などを実施します。

日程 11月15日(土)、16日(日)
会場 本館エントランスホール及び特別展示館休憩所(BF)

※申込不要、参加無料
主催 北大阪ミュージアムネットワーク

カムイノミ神への祈り
本館に収蔵されているアイヌの標本資料への感謝と安全を願い、北海道アイヌ協会の協力

11月19日(水)
講師 宇田川妙子(本館 准教授)

話題 地域社会になつくイタリアの食
お申込み・お問い合わせ
ウエーブ産経カレッジシアター係
06・66333・9087

をえて、カムイノミをおこないます。
日時 11月27日(木)10時30分～11時50分
会場 本館玄関前広場

※雨天の場合は、特別展示館休憩所(BF)にて開催、一般見学可能

公開講演会
「無形文化遺産 選ぶ視点 選ばれる現実」

ユネスコ無形文化遺産として和食が認定されるなど、いま注目されている無形文化遺産の過去・現在・未来について紹介します。

日時 11月4日(火)18時30分～20時40分
会場 日経ホール(東京、定員600名)

主催 日本経済新聞社
※要事前申込、参加無料

お問い合わせ先
研究協力係 06・6878・8209

みんなく創設40周年記念 カレッジシアター
「みんなくの地球探究紀行」

10月からプログラムをさらに充実、参加しやすいスタイルで後期講座がスタートしました。

時間 13時～14時30分
会場 あへのハルカス近鉄本館「スペース9」

※要事前申込(申込締切は各回開催日の1週間前)、参加費各回10000円

主催 産経新聞社
特別協力 国立民族学博物館、千里文化財団

11月12日(水)
講師 西尾哲夫(本館 教授)

話題 イスラームの世界観
アラビアンナイトから考える

11月19日(水)
講師 宇田川妙子(本館 准教授)

話題 地域社会になつくイタリアの食
お申込み・お問い合わせ
ウエーブ産経カレッジシアター係
06・66333・9087

みんなくゼミナール

時間 13時30分～15時(13時開場)
会場 本館講堂

定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は観覧料が必要です)

第438回 11月15日(土)

【特別展関連】美術館からみたみんなくコレクション
講師 長屋光枝(国立新美術館 主任研究員)

山田由佳子(国立新美術館 研究員)
齋藤玲子(本館 助教)

司会 上羽陽子(本館 准教授)



(国)にて展覧「カワ・トゥギトウ」の椅子のつぎき 神像 新美術館「イメージ」 神立撮影 上野則宏

2014年2月から6月まで国立新美術館で企画展「イメージの力」が開催されました。新美術館とみんなくのコレクションによる資料選定から公開までの共同作業を振り返ります。

異なったふたつの領域である美術館と博物館での展示を、新美術館の研究員とともにお話しします。

みんなくウィークエンドサロン
研究者と話そう

会場 本館ナヒひろば
時間 14時30分～15時30分

※申込不要、参加無料(要展示観覧券)
本館の研究者が来館された皆様の前に登場します!

「研究について」「調査している地域(国)の最新情報」「展示資料について」など、話題や内容は実に多彩。

11月2日(日)
11月23日(日)・祝

話者 須藤健一(本館 館長)
話者 吳屋淳子(本館 機関研究員)

話題 沖縄音楽を育む人びと
11月30日(日)
話者 丸川雄三(本館 准教授)

話題 デジタルビューアで楽しむ「イメージの力」

●展示ガイド更新のお知らせ

2014年3月に新しくなった東アジア展示の展示ガイド更新版が完成しました。展示ガイド(バインター形式)をお持ちの方には、無料で差し替え分をお渡しいたします。ミュージアム・ショップにお申し出ください。

●南アジア・東南アジア展示リニューアルのお知らせ
展示リニューアル工事のため、南アジア・東南アジア展示場が閉鎖されます。

期間 11月5日(水)～2015年3月18日(水)

●無料観覧日のお知らせ
11月3日(月)・祝、15日(土)、16日(日)は、特別展示、本館展示を無料で観覧いただけます。

ただし、3日(月)・祝については自然文化園を通行される場合、入園料が必要です。

※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。

※電話でのお問い合わせ受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

刊行物紹介

■岸上伸啓 著
『極北の風景 グリーンランド 写真帳—ヌーク編—』
風土デザイン研究所 1,500円(税別)

■広瀬浩二郎 著
『世界をさわる —新たな身体知の探究—』
文理閣 2,000円(税別)

北大西洋に浮かぶ世界最大の島、グリーンランドの総人口は約5万7千人でそのうちの9割がイヌイットです。現代のグリーンランドの様子を、首都ヌークで2008年と2013年に撮影した写真と解説で紹介しています。

サイエンス、アート、コミュニケーションの三つの切り口から“さわる”世界に多角的にアプローチします。天文学・古生物学・赤チャルン学の研究者、武道家、彫刻家の協力を得て、ユニークな触文化論を展開しています。

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 本館第5セミナー室
定員 96名(当日先着順、会員証提示)

第437回 12月6日(土)14時～15時
ナラ林文化を再考する

講師 佐々木史郎(本館 教授)

大陸アジアの照葉樹林帯に、日本文化の起源を求めた照葉樹林文化論。この学説の一翼を担った佐々木高明元館長は、南北双方からルーツを探る必要性を併せて指摘し、照葉樹林文化に对应するものとして、北方系の文化の流れに「ナラ林文化」という仮説の枠組みを設定しました。本講演では、ナラ林文化論に託された課題を抽出し、生態環境や歴史の変遷をふまえて、「ナラ林文化」という文化領域設定の可能性を改めて問い直してみたいと思います。

第438回 2015年1月10日(土)14時～15時
グローバル時代の「知的生産の技術」

講師 久保正敏(本館 教授)

梅棹忠夫初代館長は、博物館を博物館と位置づけ、モノ、映像や音響資料の収集とそれらの情報化に力を注ぎました。また、利用者自身が情報を選択・再構築し、自ら「知的生産」を実践する場として、民博が活用されることを期待しました。グローバルな情報収集と利用が日常となった現代は、博物館における資料や情報の集積・利用や公開の手法において、多様な異文化への配慮が特に必要です。「フォーラム型」の情報集積と公開に新たな可能性を見出す、これからの「知的生産の技術」について考えます。

※いずれの講演会も終了後に講師をまじえ、1時間程度の懇談会をおこないます。

第85回民族学研修の旅

手仕事への回帰
—カンボジア、東北タイの機織りの現場をめぐる

2015年2月1日(日)～2月9日(月)
訪問先…カンボジア、タイ東北部

※国立民族学博物館ミュージアム・ショップの記事は、表紙うらに移りました。